

10月15日

(第231号)

1985 / 頒価50円

平和と平和共存・反独占民主主義・
学生運動統一のために / すべての
民主的学友は民学同に結集しよう

新時代

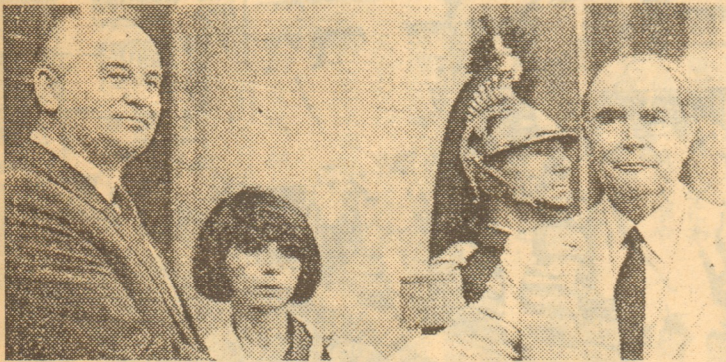
民主主義学生同盟中央委員会編集局

東京 電話 03(943)6846
郵便振替 東京1-71320

大阪 電話 06(941)2974
郵便振替 大阪 311420

月2回1日・15日発行
定期購読料(千円)
半年1,000円(密封1,200円)
一年2,000円(密封2,400円)

ソ連が新提案、核兵器を50%削減



ソム会談で握手するゴルバチョフ書記長とミッテラン仏大統領

ゴルバチョフ書記長が提案 「宇宙兵器全面禁止を」

ソ連ゴルバチョフ書記長が10月3日、核軍縮と宇宙兵器に関する新提案を仏で発表した。①宇宙兵器を全面禁止する②双方領土に到達しうるすべての核兵器を50%削減する③欧州に配備された中距離核ミサイルは、宇宙兵器、戦略兵器と切り離して合意をめぐす④英仏の核は両国と独自に交渉する用意がある⑤ソ連の欧州部に配備されている中距離核SS20は、今後二ヶ月以内に、八四年六月一日と同じ水準にまで削減する、などを骨子とするものである。

ジュネーブのソ米交渉における最重要課題は言うまでもなく宇宙軍拡—SDI—の中止である。レーガンの

の計画を取り引きの対象にするつもりはない」と何度も発言している。

そしてこれによって核軍備制限、削減の有効な措置を取る可能性が封じ込められている事も事実である。さらに軍縮交渉の場での米国の提案は昔の「ゼロオプション」や「中間案」等が再び持ち出されている。例えば「ICBMとSLBMの弾頭数を五〇〇〇個に制限する」。これはソ連の戦略力の基幹をなすICBMを大幅に削減するが、戦略爆撃機や長距離巡航ミサイルは、米国は大幅拡大を行えるのである。米帝はSDIの実施をやめなさい、交渉の成功そのものを望まない姿勢を増々明らかにしている。

この様な状況の中での今回のソ連の提案は、平和勢力としてのその立場を一層鮮明に表わしている。宇宙軍拡の禁止と並行して相互領土に到達する核兵器の半減を打ち出し、SS20の一方的削減を実施し、英仏との独自の交渉を行うというものである。「英仏の核もソ米交渉に含まれるべき」との従来のソ連の主張を変えて

いる点は、今回の訪仏でゴルバチョフ書記長が、SDI反対の立場をとるミッテラン仏大統領に対し共同歩調を要請したことに代表される様に、SDI禁止においてはあらゆる手段をつくし、SDI推進グループに属さない部分とは全て手を結ぶ反SDI統一戦線の追求である。レーガン戦略に必ずしも全面的に賛同できない部分が出てくる中で、これらとも積極的の手に結び広範な勢力を持つて米帝を包圍していくことは軍縮交渉成功への大きな力である。またSS20の撤去はオランダ政府の巡航ミサイル配備延期決定に対し、大きな影響力を与えるし、欧州平和運動の前進に—自国政府の政策決定を大きく左右させていく力となる。ニュージーランドの核艦船寄港禁止政策はANZUSの解体という形でレーガン戦略に打撃を与えている。これに代表される各国における労働者階級を先頭とする広範な平和運動は、レーガンを追いつめる闘いとして着実に前進している。

ソ連の平和政策と国際的規模で拡大する平和運動、民族解放勢力の闘いの中で次第に追いつめられる米帝レーガンは、「ソ連もSDIを進めている」という「根拠のないもの」(タス通信)をキャンペーンし「米帝に不利である」と連発している。「ソ連に到達しうる核兵器は米帝がはるかに多い」という彼の言い分は、逆に米帝がどれほど世界規模で核を展開し、ソ連に向けているのかを自ら表明している様なものである。ソ連は、一方的にモラトリアムを実施し、削減し、米と同様規模でさらに削減し、なおかつ別個に英・仏の核について交渉せんとしているのがある。レーガンの言う「不公平」なる言葉を使つたらいい、どちらが「不公平」なのか。

そしてこのレーガン戦略に対し、世界でもっとも積極的のこれを支持し、具体化してきているのが日帝中曾根である。ソ米交渉成功、SDI阻止に向けて、国際的規模でより広範な闘いが問われている中、日本国内における、広範な大衆統一行動が、平和原水禁運動が今日ほど問われている時はない。

北極星

「改憲」から「時代の変動」に即して有効に発揮される様に絶えず厳しく憲法を見直す努力を続ける」に変わった自民党の政策綱領の案。商業新聞では「改憲派の反発は必至」等の見出しで、自民党の政策綱領自体が護憲に変わったかの様な形。しかしながら中身においては、「防衛」—総合的な安全保障政策の着実な推進、日米安保条約の円滑で効果的な運用。[経済]—行政財政改革を推進・簡素化で効率的な小さな政府を目指す。[教育]—自立と責任の精神、社会に貢献する姿勢、広い国際感覚などを持つ新世代の育成をめざし、教育改革を推進、等々である。軍拡・行政財政改革・臨教審と、憲法の基本精神に對立する中曾根の政策の提示にすぎず、「見なす努力」は、「改憲」でできる基盤作りへの努力にすぎない。内容においては、改憲へ一歩進んだものとすらいえる。

狭山第二次再審闘争

10・28狭山中央総決起集会へ

(1) 部落差別によってデッチ上げられた狭山事件の再審—特別抗告審は、無実の部落青年石川一雄氏を不当逮捕して二年を過ぎた去る五月二十八日に最高裁第二小法廷によって棄却された。

この判決を見るならば、まず第一に、非常に政治的な判決といえる。第二小法廷の塩野裁判官の退官が三月に明らかになされていることから、特別抗告に対する判断はそれ以前に出されていたと思われる。その判断を運動が盛り上がった五月二三日直後に発表したことは、運動の高揚の時期を政

(2) 狭山事件の再審闘争は第二次再審請求の段階に入っている。第二次再審の実現には今よりもっと大きな狭山再審実現の世論をつくらねばならない。

今後、大学からより大きな狭山再審実現の世論を盛り上げるためには、まず第一に、五・二八特別抗告棄却決定の批判を具体的に明らかにし、より多くの学生、教職員とともに確認していくことである。第二には、第二次再審に向けて重要な力となる全証開示ハガキ運動をより広範に行なっていくことである。第三には、

(3) 部落解放基本法制定の闘いや、学内解放教育確立へ向けた闘いと結合させ、運動を展開していくことである。

来たる十月二十八日には、東京明治公園で、「五・二八特別抗告棄却糾弾! 十・三十一寺尾判決十一ヶ年糾弾! 狭山再審実現中央総決起集会」が開かれようとしている。全国から特別抗告棄却糾弾と狭山第二次再審実現に向けた取り組みを結集させ、各学園で、狭山再審実現の世論をより大きくものにし、十・二八中央総決起集会に結集させよう!

10月国連軍縮行動週間を闘おう

張 主 10・26、27連続闘争に起とう 学園から大衆運動のうねりを

ソ連ゴルバチョフ書記長が十月三日に仏で明らかにした軍縮提案は、ソ米交渉成功を更に追求している。INF・SS20撤去や核兵器五〇％削減、英・仏の独自交渉準備提案などは、これまでのソ連提案のINF・Mの制限提案など、建設的

な名を冠するものは一切ない。そして、最重要問題、攻撃宇宙兵器については、ソ連が一貫して全面禁止を強く提案しているのに対し、

「SDIは審議の対象ではない」と語り、SDIの実験を繰り返すのは米国の政策転換へ、米帝の核戦略の具体化を許さない闘いへ、ソ米交渉成功、SDI阻止

南太平洋、中東、とあらゆる地域への核戦力の展開を強行している。各国の平和運動は、かかる中で、広範に展開されている。あらゆる勢力の統一した闘いとして自国政府の政策転換へ、米帝の核戦略の具体化を許さない闘いへ、ソ米交渉成功、SDI阻止

へと着実に前進している。日本においても、世界各地での闘いを教訓とし、これに連帯した闘い、ソ米交渉成功、SDI阻止に向けた広範な大衆的統一行動が問われている。核戦争に反対するあらゆる人々を結集する運動として進められている「軍縮交渉の成功と日本非核政策の実現をめざす署名」は、ソ米交渉成功、SDI阻止を主題とし、核戦争阻止に向け、また、日本政府にこの立場を立たせていく平和と原水禁運動の要としてある。

しかし、一方で中曾根内閣による「戦後政治の総決算」路線は、GNP比一〇

の市予算支出を拒否するよう市憲章の一部を改正する提案を住民投票にかけよう、といったものである。市当局は、一次請求の結果を放置したため、今回の二次請求まで無視すれば、自動的に市憲章が改正されることになる。住民投票に

は活発に闘いが進んでいる。オランダでは、八十五年十一月一日までに核巡艦ミサイルの配備が強化されるか否かが決定されることになっている。

「巡艦ミサイル反対委員会」は九月から五〇万抗議ハガキ運動を開始した。ベルギーでは現在、総選挙が行われんとしている中で反核の闘いが進められている。本年三月巡艦ミサイルが強化配備されたことへの不満が選挙の中で「核ミサイル撤去」というスローガンとして打ち出されている。又、スペインではNATO脱退が残留かを問う国民投票が予定されているという局面である。国会論議の集中点の十月二十七日から十一月一日をNATO脱退キャンペーンの時期に決

十一月ソ米首脳会談を控え、又軍縮交渉第三ラウンド開催のさ中、全世界の平和と勢力が様々な行動を開始しており、十月二十四日から国連軍縮行動週間に向け更にその闘いを高揚させんとしている。

米国内で、欧州で、南太平洋で、極東で、帝国主義核戦略の鎖を断ち切ろうと

市当局は、母港化計画に市税から二〇万ドルを支出し、市有地を提供、港湾当局も、一五〇〇ドルを支出しようとしている。

これに対して、住民請求は、核兵器・軍事施設へ

米監督教会総会(二八〇万人)も、レーガンのSDIに対し、「変わりようのない反対」を決議している。

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

和勢力が様々な行動を開始しており、十月二十四日から国連軍縮行動週間に向け更にその闘いを高揚させんとしている。

米国内で、欧州で、南太平洋で、極東で、帝国主義核戦略の鎖を断ち切ろうと

市当局は、母港化計画に市税から二〇万ドルを支出し、市有地を提供、港湾当局も、一五〇〇ドルを支出しようとしている。

これに対して、住民請求は、核兵器・軍事施設へ

米監督教会総会(二八〇万人)も、レーガンのSDIに対し、「変わりようのない反対」を決議している。

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか

「枠」、中期防衛計画、スパイ防止法、靖国神社公式参拝、臨教審の中で具体化される「国家のために死ぬ」という思想を背景としたイデオロギー攻撃を徹底させてきている。「戦後民主主義」思想の解体を狙うかか



SDI阻止、軍縮交渉成功へ粘り強い闘いを！

27日、平和軍縮討論集会へ！

26日には学生集会とNZ連帯集会

定し、NATO脱退、国民投票実施、基地撤去、中立、軍事費を社会支出へ、をスローガンに全国で行動を開始した。

アイスランドでは四月の核艦船入港拒否外相声明、五月の非核政策を再確認す

26日には都平連などがデモ

【東洋大支部発】

東洋大学では、核戦争阻止、SDI阻止、中曾根軍拡阻止、一〇・二一国際反戦デー、一〇・二四国連軍縮行動週間へと、着実に闘いを進めてきている。

この間、JCPD(全国連絡会)の署名運動を積極的に支持し、展開している中で、「軍縮交渉成功！非核政策実現！」の声を着実に広げている。この声をより拡大すべく、教授へのオルグが開始された。又、引き続き、ゼミ・クラスでの署名運動、PC、IPCでの「シリーズ日本の軍事大国化」学習会、上映会、紙しばいのクラス入りなどが大衆的に展開されている。更にこの闘いを軍縮週間へ集中していくべく、一〇・二一国際反戦デー、一〇月国連軍縮行動週間の成功を目標とする実行委員会」が結成された。

【理科大支部発】

今日、中曾根の政策が、SDIを積極的に支持し、対ソ核戦略上の重要な位置として軍拡を続ける中で、国内における中曾根に対する闘いは、帝国主義の核戦争を粉砕する意味で極めて重要である。

実行委では、最速一〇月二二日、反戦デーでの「反核フェスタ85・VOL2」ーコンサート・被爆体験の聞きとりなどの開催、一〇月二六日の署名推進委主催の集会、二七日のJCPD平和軍縮討論集会への取り組みを決定している。

又、結果しているサークル、自治会では、各々の独自性を生かした取り組みが準備されている。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。

このように様々な平和のための取り組みを展開し、今までの平和の行動に参加した事のない学生も含めて、軍縮週間成功へ向けて前進している。